

油絵 専攻

設置クラス	本科	高卒生	月曜～金曜	9:30～16:30
	専科	高3生・高卒生	火曜～金曜	17:30～20:30 日曜 9:30～18:00
	高2専科	高2生	火曜～金曜	17:30～20:30 日曜 9:30～18:00
	日曜専科	高3生・高卒生 (遠方から通塾)	日曜	9:30～18:00
	高2日曜専科	高2生	日曜	9:30～18:00



ここが作家の礎。
いしずえ
 油絵専攻は、これまでにアーティストはもちろん、イラストレーター、デザイナー、漫画家、陶芸家など、さまざまな分野の作家を輩出してきました。絵画を描き、学ぶことは、世界の見方の幅や奥行きを知るスタート地点です。講師との、自分との、仲間との、そして絵との対話。アトリエでの対話はすべて作家の礎になります。指導講師は、自身もそのように学び思考し実践してきた経験を生かし、君たちの作家としてのスタートを全力でバックアップします。

指導スタッフ

一人ひとり。人と絵との対話を指導の入口とし、合格という出口と出発点をめざし、実技指導はもちろん人生相談まで幅広く。いろんなタイプの先生たちです。

●レギュラー講師

- 池 奈千江 愛知芸大大学院油画修
- 片岡 美保香 愛知芸大油画卒
- 小谷 浩士 愛知芸大大学院油画修
- 大勝 純一 東京藝大大学院油画修
- 田島 秀彦 愛知芸大大学院油画修
- 宮坂 恵子 愛知芸大大学院博士課程修

●招待講師

- 田中 佐那 愛知芸大油画在籍
- 中条 友也 愛知芸大油画卒
- 福岡 由那 愛知芸大大学院油画修
- 松岡 信乃介 愛知芸大油画在籍

●チューター

- 加藤 めぐみ 愛知芸大油画在籍
- 藤村 月之 愛知芸大油画在籍
- 水野 真里 愛知芸大油画在籍



(2025年12月現在・50音順)

年間カリキュラム	本科	専科・日曜専科	高2専科・高2日曜専科
春期講習			
1学期 ●入塾ガイダンス ●第1回全統共通テスト模試 ●全体保護者会(動画配信) ●入試説明会	[絵画、素描・油彩Ⅰ] ～基礎造形力強化～ ●素描、油彩基礎課題(石膏、静物、人物、想定) ●東京藝大クラス、東京愛知併願クラス、愛知芸大クラス、金沢美大クラス 志望校別授業	[絵画、素描・油彩Ⅰ] ～基礎造形力強化～ ●素描、油彩導入課題 ●東京藝大クラス、東京愛知併願クラス、愛知芸大クラス、金沢美大クラス 志望校別授業 ●素描・油彩基礎課題(石膏、静物、人物、想定)	[絵画基礎Ⅰ] ～基礎実技力育成～ ●素描、油彩導入課題(用具の使い方、描き方、絵の見方) ●専科・日曜専科各クラスとの合同課題 ●素描、油彩(石膏、人物、静物、想定)
夏期講習			
2学期 ●保護者会(三者面談) ●塾生作品展 ●大学入学共通テスト出願 ●愛知芸大公開実技模試 ●第3回全統共通テスト模試 ●全統プレ共通テスト	[絵画、素描・油彩Ⅱ] ～絵画表現力の強化～ ●東京、東京愛知併願、愛知、金沢各クラス別授業 ●素描、油彩基礎強化課題 ●素描、油彩表現力強化課題(石膏、静物、人物、風景、想定課題、ドローイング課題など) ●新宿校合同コンクール	[絵画、素描・油彩Ⅱ] ～絵画表現力の強化～ ●東京、東京愛知併願、愛知、金沢各クラス別授業 ●素描、油彩基礎強化課題 ●素描、油彩表現力強化課題(石膏、静物、人物、風景、想定課題など)	[絵画基礎Ⅱ] ～基礎造形力・絵画表現力育成～ ●専科・日曜専科各クラスとの選択課題 ●素描、油彩(石膏、人物、静物、想定課題など)
冬期講習			
3学期 ●大学入学共通テスト ●修了会	[志望校別対策] ～対応力を身につけ、完成度を高める～ 入試に向けて、それぞれの志望大学に応じた課題の対策を行います。入試本番を間近に控え実践力を強化します。		[絵画表現基礎Ⅱ] ～絵画表現力育成～ ●基礎造形力の確認と表現への試み
直前講習			



塾生作品展制作

9月中旬に行われる塾生作品展へ向けての自由制作のアトリエの様子です。2025年度のテーマは「カイリキ」。



自画像コンクール

1学期には、本科生を対象とした自画像コンクールがあります。作品講評後には、優秀作品の表彰式もあります。



石膏デッサン

石膏像は基礎的なモチーフですが、主要な国立大学での出題頻度の高い課題です。観察力と精度の高い表現力が必要です。



静物油彩

描く対象をしっかりと観察することから始めましょう。それを忠実に再現するようにキャンバスに絵具を乗せていく、それが油彩制作の基本です。



作品展示実習

併設されたArt Space NAFでの展覧会設営実習の様子です。2025年度の展示は、自画像コンクールの優秀作品です。



愛知芸大公開実技模試

10月、11月に行われる愛知芸大模試。近年の出題傾向と採点基準に則したシミュレーションが体験できます。

油絵 本科 東京藝大クラス

本科・東京藝大クラスは、東京藝術大学を第一志望に考える高卒生対象のクラスです。毎年変化する入試出題に必要な臨機応変な対応力と、絵画表現を豊かにイメージする力を大切に、描く力はもちろん、作品に奥行きを与える考える力を最大限に引き上げます。学生一人ひとりの制作経験や資質を生かした指導と、次の絵につながる丁寧な講評を通して合格へと導きます。

- 1学期は、石膏像や静物モチーフ、人物モデルなど基本的な課題制作を中心に素描、油彩の基礎造形力と描写力向上をめざします。6月中旬から第一志望によるクラス別の授業が始まります。
- 2学期は、制作期間を長く取った素描・油彩課題を、個人指導と講評により長所を引き出し、自らの絵のイメージをかたちにします。
- 3学期および入試直前期は、予想される課題と入試を意識した制作により、試験日にピークを合わせ合格をめざします。



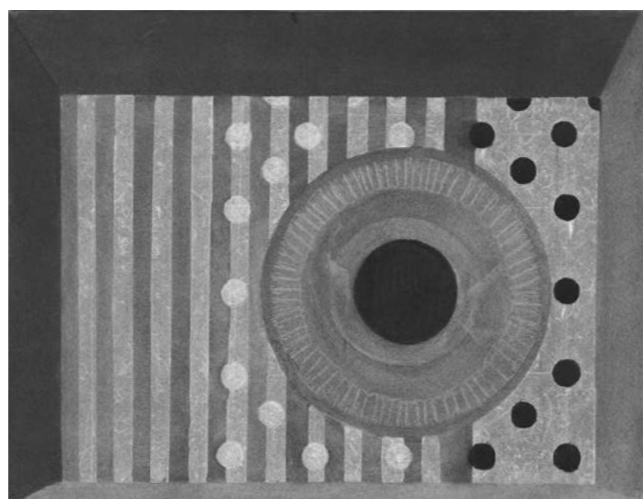
1



2



3



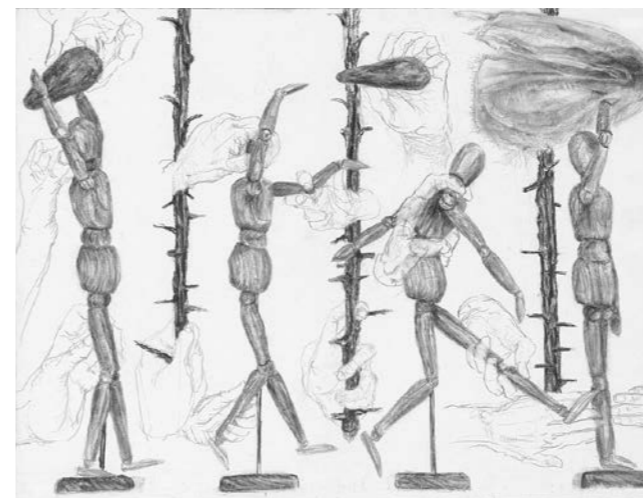
4

1. 静物と人物を描いた作品です。人物は座りポーズでしたが、ある時間になると静物の周りを移動して別の場所に座るといふ、動きのある課題でした。作者はあえて人物の姿を描かず、スカートのある一瞬の繊細な動きに反応して描いています。ただ、スカートの動きを描くだけでなく、時間がかかわりながら描き留めているところにも好感が持てます。[F20号キャンバス・油彩]
2. 肖像画をテーマに描いた作品です。人物とその周りに描かれた音符や激しく揺れる線、使われた色や絵具の質感すべてで、作品を見ている人に描かれた人物が感じている、もしくは聴いている音を伝えています。肖像画を通して、目に見えない音をどう表現するか、普段から体で感じて音楽を聴いている作者にしか描けない作品に仕上がっています。[F20号キャンバス・油彩]
3. 3種類の怪物を想定し、それらの関係（戦うまたは遊ぶ）を描いた作品です。人型の怪物とその血を吸おうとして叩かれる蚊の怪物、汗をかかせようとその周りをうごめく熱風の怪物。普段の何気ない日常から着想を得て、それぞれを怪物に見立てる作者のユーモラスな発想が魅力的です。怪物の必死な表情も、見るものを引き込むような絵力があります。[MBM木炭紙・木炭・鉛筆]
4. 「不思議」というテーマで、配付された3つのモチーフを組み合わせて描く課題です。柄が重なって描かれていたり、共通の形が強調されていたりと、作者が見つけたモチーフ同士がかかわることで見えてくる不思議を、画面の中で巧みに構成しています。黒・白・グレーの調子の組み立てもバランスがとれていて完成度の高い作品に仕上がっています。[MBM木炭紙・木炭・鉛筆]

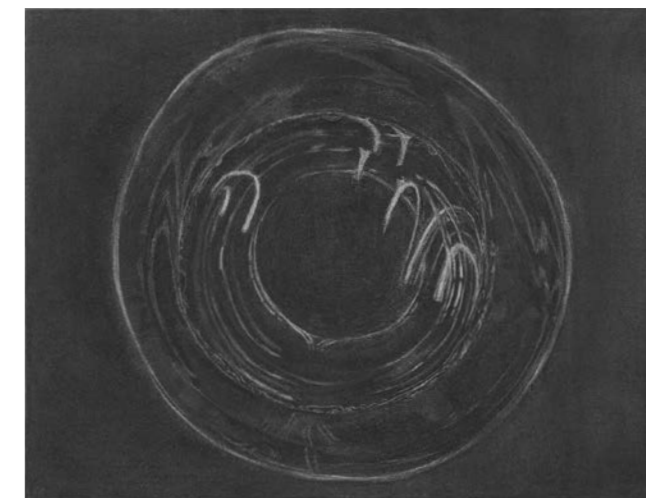
油絵 専科・日曜専科 東京藝大クラス

専科・東京藝大クラスは、東京藝術大学を第一志望とする高3生や、本科に通うことができない高卒生を対象にしたクラスです。初めての実技入試にも自信をもって臨めるよう、密度の高いカリキュラムを組み丁寧な指導を進めていきます。日曜専科は、遠距離などの理由で専科に通えない高3生および高卒生を対象にしています。専科同様のカリキュラムの流れで進みますので、いつでも専科にクラス変更が可能です。

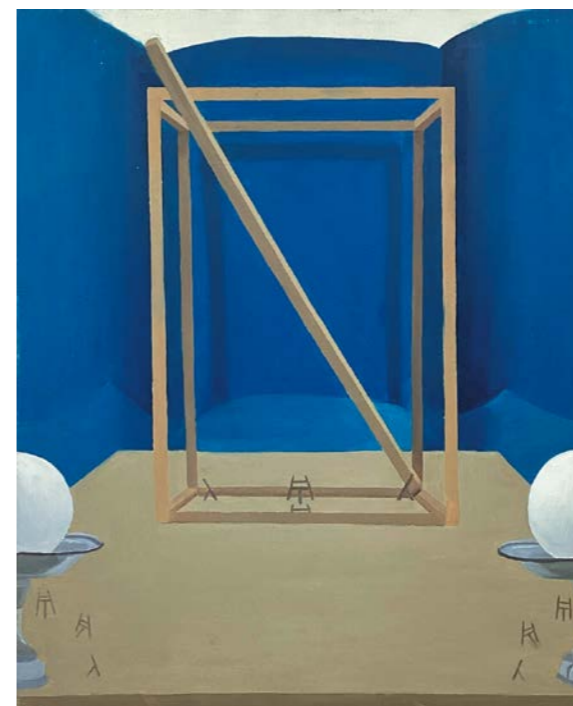
- 1学期は、石膏像や静物モチーフ、人物モデルなど基本的な課題制作を中心にデッサン、油彩の基礎力向上をめざします。各大学の入試説明を行い、6月中旬から第一志望によるクラス別の授業が始まります。
- 2学期は、近年の藝大に特徴的な素描課題や、発想と表現の関係性を探る油彩課題で各人の構想力・表現力を強化します。
- 3学期および入試直前期は、予想される課題や試験と同制作時間内で入試への対応力を上げ、合格をめざします。



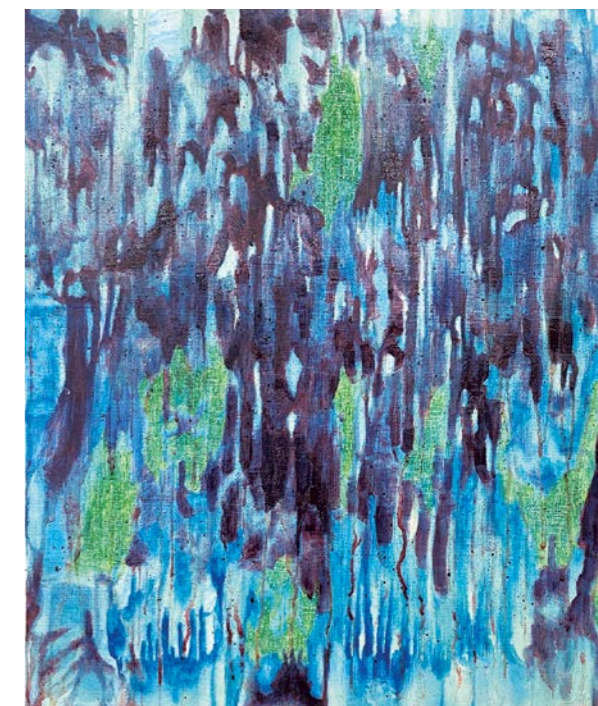
1



2



3



4

1. 手渡された複数のモチーフと手を組み合わせて描かれた作品です。まるでストップモーションアニメのように、黒子のような役割である手が必要な場所に配置され、それぞれのモチーフを動かしたり支えたりして動きのある一場面を生み出しています。モチーフ同士がかかわり合いながら微妙な変化をつけているところに作者のこだわりが見られます。[MBM木炭紙・木炭・鉛筆]
2. 水（任意の量）の入ったステンレスボウルを描く課題です。モチーフを観察していく中で見つけた、ある一瞬の出来事を逃さず、的確に拾い上げ絵にしています。見せたい反射の光を強調しつつも、よく見ると暗がりの中でステンレスボウルの質感をしつこく追っています。作者のモチーフに対する鋭い観察力が表現にもつながっている秀逸な一枚です。[MBM木炭紙・木炭・鉛筆]
3. 「前景・中景・後景」をテーマに設置されたモチーフを描いた作品です。設置されたモチーフを画面の中で再構成して、テーマに対して作者の考える空間が表現されています。後景にモチーフの湾曲した写り込みがあることで、絵画ならではの奥行きを感じることができます。モチーフの周りに置かれた小さなイゼルも作者の遊び心が感じられます。[F20号キャンバス・油彩]
4. 配付されたモチーフの中からいくつか選んで組み合わせて描いた作品です。作者はモチーフの一つである青い水をきっかけに、他のモチーフはその水にどう溶けるかを考え、その様子を表現しています。色はどこまで滲み出るか、形はどこまでとどまるのか、想像しながら溶け方の違いにこだわりを持って描かれているところに魅力を感じます。[F20号キャンバス・油彩]

油絵 本科
愛知芸大クラス

本科・愛知芸大クラスは、愛知県立芸術大学を第一志望に考える高卒生対象のクラスです。愛知芸大入試に直結した課題や、素描・油彩のバランスを考えたカリキュラムと、一人ひとりの弱点の自覚を促し次の制作につながる適切なアドバイスにより、描写力や表現力を養成します。愛知芸大の入試出題傾向や合格基準、入試結果詳細を知りつくした講師スタッフが合格へと導きます。

- 1学期は、石膏像や静物モチーフ、人物モデルなど基本的な課題制作を中心にデッサン、油彩の基礎造形力と描写力向上をめざします。6月中旬から第一志望によるクラス別の授業が始まります。
- 2学期は、愛知芸大実技模試を挟み、素描、油彩を実践的に強化し、入試時期を見据えたこの時期までに必要なレベルまで力をつけます。
- 3学期および入試直前期は、予想される課題と入試を意識した制作により、試験日にピークを合わせ合格をめざします。



1. 大胆な色使いと、絵具の造形的描写が魅力の作品です。絵具の厚みや筆致で描き分けられた赤色の布とパブリカが小粋な印象を与えています。缶や骨の粘り強い描写も見どころです。[F15号キャンバス・油彩]

油絵 本科
東京藝大・愛知芸大併願クラス

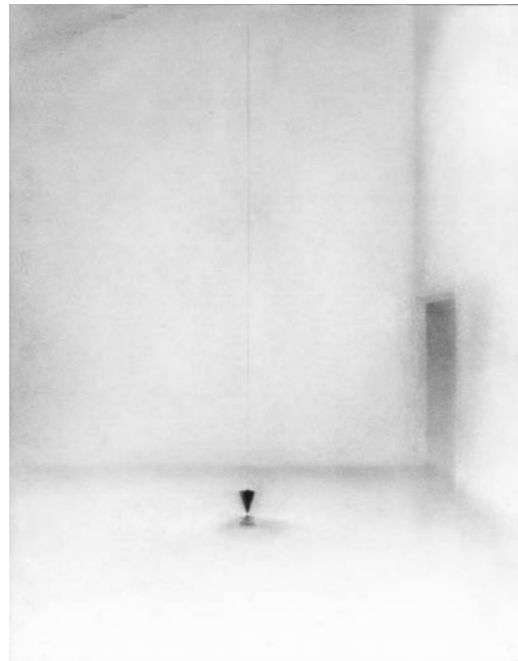
本科・東京藝大・愛知芸大併願クラスは、東京藝術大学と愛知県立芸術大学の併願を考える高卒生対象のクラスです。東京藝大と愛知芸大の併願を視野に入れたバランスの良いカリキュラムを元に、入試に必要な表現力を養います。単に、東京藝大と愛知芸大の入試対策課題を繰り返すだけでなく、河合塾美術研究所独自のメソッドにより、東京藝大と愛知芸大を併願するコツをわかりやすく指導し、合格へと導きます。



1. 自由なテーマ設定で描いた油彩作品です。ガラス窓についた水滴と遠景に臨む夜景をモチーフにした静かなイメージの絵ですが、豊かな時間性や情感が伝わってきます。キャンバスの表面をガラス窓に見立てる高度な絵画意識がうかがえます。[F20号キャンバス・油彩]



2. 対象の形態や構造を正確に理解し、細部まで精度の高い描写がされています。明度対比を意図的に強くすることで絵画表現の魅力と迫力を感じる作品になっています。[MBM木炭紙・木炭・鉛筆]



2. モチーフを任意の空間と組み合わせて描いた素描作品です。木炭紙の白さを生かすように抑制された美しい木炭のトーンと大胆に残した余白により、絵に不思議な物語性を与えています。[MBM木炭紙・木炭・鉛筆]

油絵 専科・日曜専科
愛知芸大クラス

専科・愛知芸大クラスは、愛知県立芸術大学を第一志望とする高3生や、本科に通うことができない高卒生を対象にしたクラスです。対象を見る力をしっかり養い、個々の適性や進度を踏まえた指導により合格に導きます。日曜専科は、遠距離などの理由で専科に通えない高3生および高卒生を対象にしています。専科同様のカリキュラムの流れで進みますので、いつでも専科にクラス変更が可能です。

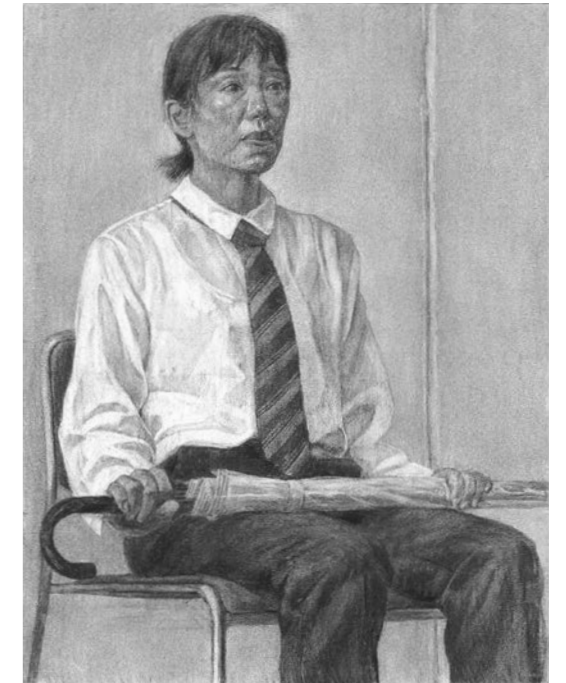
- 1学期は、石膏像や静物モチーフ、人物モデルなど基本的な課題制作を中心にデッサン、油彩の基礎力向上をめざします。各大学の入試説明を行い、6月中旬から第一志望によるクラス別の授業が始まります。
- 2学期は、愛知芸大実技模試を挟み、素描、油彩を実践的に強化し、入試時期を見据えたこの時期までの必要なレベルまで力をつけます。
- 3学期および入試直前期は、予想される課題や試験と同制作時間内で入試への対応力を上げ、合格をめざします。



1. 入試と同じ試験時間で制作した模試の上位作品です。石膏像の印象把握や空間、光の描き、質の描き分け等において、現役生ながら完成度の高い作品に仕上がっています。[MBM木炭紙・木炭・鉛筆]

油絵 専科・日曜専科
東京藝大・愛知芸大併願クラス

専科・東京藝大・愛知芸大併願クラスは、東京藝術大学と愛知県立芸術大学の併願を考える高3生や、本科に通うことができない高卒生を対象にしたクラスです。東京藝大と愛知芸大の併願を視野に入れたカリキュラムを元に必要な表現力を養います。単に、入試対策課題を繰り返すだけでなく、河合塾美術研究所独自のメソッドにより、東京藝大と愛知芸大を併願するコツをわかりやすく指導します。日曜専科は、遠距離などの理由で専科に通えない高3生および高卒生を対象にしています。



1. 愛知芸大一次模試の上位作品です。人物モデルの自然なプロポーション的確にコントロールされた木炭の調子、細部の描き込みなどに、入試で求められる十分な基礎力を感じさせます。[MBM木炭紙・木炭・鉛筆]



2. モチーフとして黒い水の入ったバット（中には火のついた蠟燭が設置）と、透明なアクリル製立方体や円筒が床に置かれていました。反射や透過、屈折などさまざまな現象を、絵具の滲みやぼかしを駆使して繊細に表現しています。[F15号キャンバス・油彩]



2. モチーフを自由なテーマで描いた油彩です。柔和な色彩と絵具の質感に、作者の感性と絵心を感じます。キャンバスに絵具を載せたときにできる物質的なきわに細心の注意を払い、単なる絵具という物質を空間にすることに成功しています。[F20号キャンバス・油彩]

本科 金沢美大・広島市立大クラス

本科・金沢美大・広島市立大クラスは、金沢美術工芸大学・広島市立大学など、入試で石膏デッサンや人物（自画像）、静物油彩が課される大学を第一志望に考える高卒生対象のクラスです。入試で評価される観察力による描写力をつけていくために、基礎的な物の見方と、デッサンや油彩における技術的な訓練を通して高度なレベルの造形力を身につけていきます。また他大学も併願する人のための対策カリキュラムも実施していきます。

- 1学期は、石膏像や静物、人物モチーフを中心にデッサン、油彩の基礎的な物の見方や描き方を学び基礎造形力向上をめざします。
- 2学期は、高度なレベルのデッサン力をつけていながら人物（自画像）、静物油彩を制作していきます。
- 3学期および入試直前期は、試験時間内での制作で完成度を上げ、試験へと備えていきます。



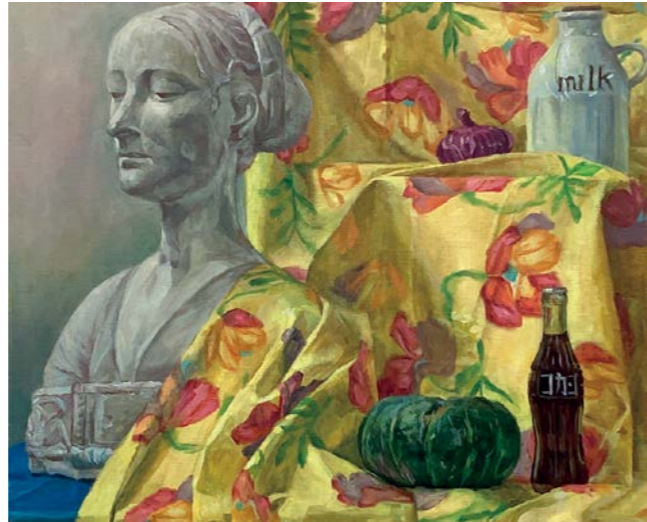
1. 丁寧な混色と彩度をうまく使うことで、それぞれの質感や立体感が適切に表現されています。また、ガラスの緊張感や全体的に抑えられた色調で描かれた画面は独自の世界観があります。[F15号キャンパス・油彩・本科生]



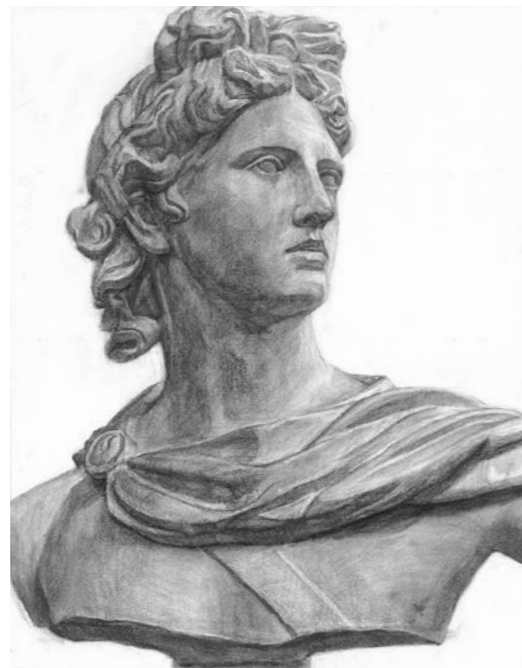
2. 大きな量感や空間を把握しながら、細かいディテールまで粘り強く描き込んだことで、調子の色幅が増え、木炭紙の余白が空間に見え始め、隅々まで気を配られたデッサンに仕上がりました。[MBM木炭紙・木炭・本科生]

専科・日曜専科 金沢美大・広島市立大クラス

専科・金沢美大・広島市立大クラスは、金沢美術工芸大学・広島市立大学など、入試で石膏デッサンや人物（自画像）、静物油彩が課される大学を第一志望に考える高3生や本科に通うことができない高卒生を対象としたクラスです。入試で評価される観察力による描写力をつけていくために、基礎的な物の見方と、デッサンや油彩における技術的な訓練を通して高度なレベルの造形力を身につけていきます。日曜専科は、遠距離などの理由で専科に通えない高3生および高卒生を対象にしています。



3. モチーフを見て感じ取ったことが、そのまま筆の動きに直結していくような積極的な描写が目立ちます。また、光の方向を丁寧に表現することで画面に空間を与え、魅力的な作品です。[F15号キャンパス・油彩・専科生]

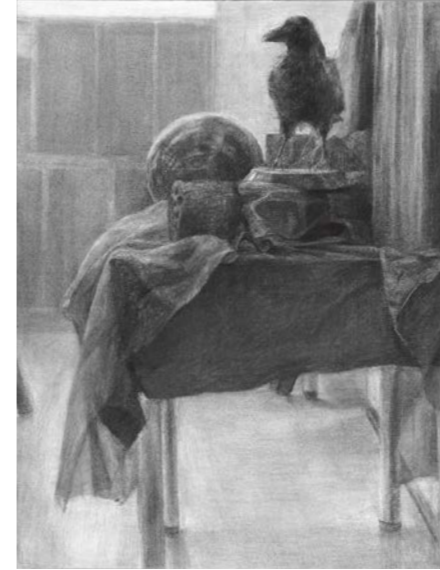


4. 下から見上げたときの迫力がまず伝わってきます。その第一印象を大切にしながら、よく観察し面や稜線を探りながら、しつこく描写された頭部や顔など見応えのあるデッサンです。[MBM木炭紙・木炭・専科生]

高2専科・高2日曜専科

高2専科および高2日曜専科は、油絵科受験を志望する高2生を対象にしたクラスです。美術科高校に通う経験者から、これからデッサンや油絵を始める初心者まで、各人の制作経験年数や枚数に応じて丁寧に指導を進めていきます。先輩である高3生や高卒生と一緒に制作することで、技術力も含め、より高度なデッサンや油絵の勉強をすることができます。また各人の志望校を決定するための入試説明会を実施し、最新の入試情報を提供していきます。

- 1学期・2学期は、高3生と同じアトリエで、東京藝大クラス、愛知芸大クラス、金沢美大クラスの課題を交互に制作します。各クラスでオーソドックスな描写課題や言葉をもとにした発想課題など、さまざまな課題を制作することができます。これにより技術はもとより柔軟な思考や表現の幅を身につけ、早期より油絵科受験の準備をすることができます。
- 3学期は志望に応じたクラスでの制作となります。



1. 黒色で統一された静物モチーフを描いた作品です。豊かな幅の木炭でそれぞれの物の質感の違いを描き分けるとともに、奥へ続く室内も含めた全体の空間性や光の印象まで違和感なく自然に表現することができています。[MBM木炭紙・木炭]



2. 東京藝大・静物と言葉イメージ課題。モチーフ素材の特徴と独自の解釈を油絵具の持つニュアンスと表現にうまく組み合わせ、構図に対し空間感も意識された魅力的な空間が描かれています。[F20号キャンパス・油彩]

★ 合格者からのメッセージ



富田 瑞樹さん
油絵専科
豊橋南高校出身

現役合格

東京藝術大学 油画専攻

私は高2生から油絵日曜専科に通い、高3生は平日と日曜の専科のクラスに学校が終わってから通っていました。カッコいい絵にするために構図を意識したり、油絵具の仕事もたくさん挑戦し、研究しました。皆さんも頑張ってください。



駒田 涼久さん
油絵専科
第一学院高校出身

現役合格

愛知県立芸術大学 油画専攻

基礎高と油絵専科の2年間を通して、漠然と絵が好き状態から、何で好きなのかを探ることができ、同時になぜ絵なのかを考えるようになって成長することができました。絵を描くことは何なのかと問うことは、成長するうえで大切なことだと思います。



東出 諒さん
油絵本科
旭丘高校出身

合格

愛知県立芸術大学 油画専攻

初めは自分がどんな絵を描きたいかが分からない状態でした。先生方の話を聞いて、他の人の絵を見て、自分がどう感じたか考えながら描いていくうちに、私らしい表現が見つかることができました。いろんな言葉やものに反応してみることが大事だと思います。



森川 七星さん
油絵本科
東邦高校出身

合格

愛知県立芸術大学 油画専攻
名古屋造形大学 美術表現領域

河合塾では自分のペースで制作を進めることができ、自分らしい作品をつくることができました。先生方も親身に相談に乗ってくださって、自分の向かうべき方向性もよく理解できました。迷ったときは先生に話を聞くことで自分の表現の方向性が見えてくると思います。



津田 美雪羽さん
油絵本科
旭丘高校出身

合格

愛知県立芸術大学 油画専攻
名古屋芸術大学 美術領域

入塾時は不安でいっぱいでしたが、先生方は最後まで私に向き合ってアドバイスをしてくださったり、悩みを聞いてくれました。先生の前でも一人でたくさん泣きましたが、目の前の課題から逃げずに向き合ってきたこと、先生方の支援もあり合格できました。



堀 真琴さん
油絵専科
各務原西高校出身

現役合格

金沢美術工芸大学 油画専攻

石膏像を描くときは時間配分と描く順序を決めてルーティン化することで落ち着いて描けるのでオススメです。描き込むときは立体をイメージしてひたすら形を追い続けました。追いつくと違う雰囲気になることがあるので、何度も離れて確認するようにしています。